

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺区防災推進事業				事業番号	211-019
担当部署名	堺区役所	局	—	部	自治推進課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(1)自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上
			有	取組の方向性	⑤地域防災力の向上		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
			有	現状値	—	目標値	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	目標値	—

2	関連計画	堺区チャレンジ(Challenge)プラン		
3	事業開始年度	令和 3 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 12 年度
4	実施根拠	—		

事業の概要

5	事業の実施主体	各区					
6	事業の対象	堺区民	対象数	149,009	単位	人	
7	事業の目的	地域防災力強化のため、各校区で実施されている自主防災組織による訓練の内容充実や防災に関する知識向上に関する事業を実施し、自主防災組織の強化を図る。					
8	事業内容	【自主防災組織等の支援】 地域住民の「自助」「共助」などの防災意識の向上や発災初期の「人命救助」、「避難所運営」など自主防災組織が自主的に防災活動に取り組めるよう、自主防災組織等への支援を行う。 ・自主防災組織の防災訓練実施の支援 ・防災士資格取得促進の実施 ・初動対応講座の実施 ・堺区防災サポーターの育成支援 ・自主防災組織による地区防災計画の策定支援					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	委託業者等					
10	公民連携・協働事業	自主防災組織、堺区防災サポーター					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	自主防災訓練の参加者数	人	目標値	3,000	4,000	3,500	4,000
			実績値	3,055	3,122		
			達成率	102%	78%		
	当該指標を選定した理由	地域防災力向上のためには、住民の防災意識向上が必要であり、その指標には、防災意識の高い者が参加する傾向にある自主防災組織による防災訓練の参加人数が一つの目安となるため。					
12	目標値の設定根拠・算出方法	令和6・7年度は堺市基本計画2025のKPIより設定し、令和8年度以降は堺市堺区基本計画（2026-2030）のKPIより設定					
	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	堺区防災サポーターが委員として属する自主防災組織数	校区	目標値	12	15	16	
			実績値	11	11		
			達成率	92%	73%		
	当該指標を選定した理由	防災士資格を有した堺区防災サポーターが加わることで、自主防災組織が活性化され、また防災訓練内容等が充実し、地域の方々の防災意識が向上すると考えるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺区内の自主防災組織は、17の小学校区単位で設置されているため。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	堺区防災推進事業	事業番号	211-019
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量												
事業コスト												
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）												
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度			令和8年度		
			決算		決算		当初予算		決算		当初予算	
		事業費（a）	6,307		6,435		7,362		5,816		6,753	
		国支出金	0		0		0		0		0	
		府支出金	0		0		0		0		0	
		市債	0		0		0		0		0	
		その他（ ）	0		0		0		0		0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0		0	
		一般財源	6,307		6,435		7,362		5,816		6,753	
14	人件費（b）		25,200		25,200		20,160		20,160		20,860	
15	年間経費（c）=(a)+(b)		31,507		31,635		27,522		25,976		27,613	
事業費の内訳												
（単位：千円）												
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	
		謝礼金	R7	決算	51	51	使用料及び賃借料	R7	決算	202	202	
			R8	予算	116	116		R8	予算	358	358	
		消耗品費	R7	決算	2,408	2,408	備品購入費	R7	決算	0	0	
			R8	予算	850	850		R8	予算	0	0	
		印刷製本費	R7	決算	0	0	負担金、補助金及び交付金	R7	決算	864	864	
			R8	予算	466	466		R8	予算	1,100	1,100	
		役務費	R7	決算	440	440		R7	決算			
			R8	予算	463	463		R8	予算			
		委託料	R7	決算	1,851	1,851		R7	決算			
			R8	予算	3,400	3,400		R8	予算			

Ⅳ. 事業の効率性					
単位当たり経費					
17	①	防災士資格取得者数	人	令和6年度	令和7年度
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,378	1,264
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	68,939	26,894
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価					
費用対効果に係る所見					
18	令和7年度より、各校区の自主防災組織及び自治会活動で防災活動に携わる者を対象に、より経費が安価である大阪公立大学主催の防災士資格取得講座への参加を結び付け、前年度より大幅に費用を削減し、約50人の防災士資格取得者を誕生させることができた。防災に関する知識を有した担い手を創り出すことは、各校区の防災訓練の充実、自主防災組織の強化につながっている。				
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）					
19	次の取組を実施し、堺区の実情を踏まえた防災体制の強化に寄与することができた。 ・昨年度に引き続き、防災啓発動画と「子育てファミリーのための防災ブック-堺区版-」を活用し、堺保健センターでの4カ月健診と連携し啓発した。（1006人：24回）また、区民が楽しみながら防災や日頃の備えについて考えるきっかけとした、「堺区ふれあいまつり」にて堺区防災サポーターによるブース出展を行い、「将来の担い手育成」につなげることができた。 ・堺区で初動対応講座を2回開催し、各校区の自主防災組織の担い手育成に努め、「地域防災力の強化」を進めた。 ・路面誘導サイン・標高表示シートを整備することで、災害発生時の避難誘導を支える「誰一人取り残さない防災体制の構築」の取組を進めた。				
20	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）				
必要性	■ 高い □ 低い	令和3年度の事業開始以降、自主防災組織への支援や防災士の養成、啓発活動の実施により、地域における防災の担い手の確保・育成が着実に進んでいる。特に、防災士資格取得者の増加や防災サポーターの活動拡充により、各校区における防災訓練の内容充実や自主防災組織の活性化につながっており、地域防災力の底上げに寄与している。大規模災害への備えとして、地域主体の防災力強化は不可欠であり、本事業の必要性は引き続き高い。あわせて、防災人材の育成や啓発手法の充実により一定の成果が確認されていることから、有効性についても高いと評価できる。			
有効性	■ 高い □ 低い				